

# 完全無欠カラーコーン

文責：元岡 歩

## 1 ここの始まり

カラーコーンを貰いました。



図 1: 二十歳の誕生日プレゼント

## 2 じゃあ

何か作ろう。走るカラーコーンは既出。何か機械系がいいなあ。……  
最終機械にしよう。

## 3 最終機械とは

特にシャノンの最終機械と言います。「スイッチを入れると自分でスイッチを切り、元あった状態に戻る機械」のことを指し、ジョークマシーンでまれによく作られます。今回は「元あった状態」が普通のカラーコーンの機械を提案しようと思ったわけです。

## 4 機構

最終機械は、「元あった状態に戻る」ときに、スイッチが切られてしまうため、電力を使えません。そのため、重力を機構的に上手く支配する必要があります。その関係もあって回路はモータとスイッチ(とLED)だけです。機構について見ていきます。

画像は機械的な概略図です。灰色の部分が本体で、

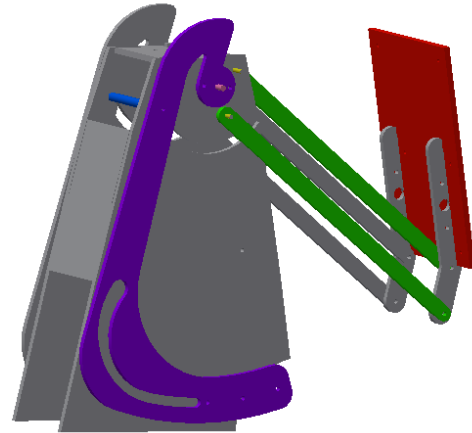


図 2: 機構概略

カラーコーンにすっぽりはまります。赤がカラーコーンを切り出したもので、ふたの役割を果たします。緑はおなじみ(?) 平行リンク。ふたを平行に持ち上げます。紫がアームで、スイッチを押します。青の棒が今回の肝で、平行リンクとアームを拘束します。「元あった状態に戻る」ときの条件に、「ふたがアームより先に戻ってはいけない」「アームにはモータがついているため、途中で止まる可能性がある」ことが挙げられます。この青い棒がこれらの条件を解消してくれる、ありがたい存在なわけです(この機構を思いつくのには土日潰れた)。

## 5 さあ、完成間近

と思いきや、  
カラーコーンが台風にも吹っ飛ばされました。

こないだ自費で買い直しました。間に合うかな。

## 6 工大祭展示、どうなっちゃうの～！？

どうなっちゃうんでしょう。以上、駄文でした。